



For a Better Tomorrow

AISIN GROUP

株主の皆様へ

第96期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

アイシン精機株式会社

証券コード：7259

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

西日本を中心とした平成30年7月豪雨、9月に発生した北海道胆振東部地震により、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

当社第96期中間*の経営概況や業績などについてご報告いたします。

*第2四半期連結累計期間：2018年4月1日から2018年9月30日まで



取締役会長
豊田 幹司郎

社長就任のご挨拶

2018年6月よりアイシン精機の取締役社長に就任しました伊勢です。このたびはこのような大役を仰せつかることとなり、身の引き締まる思いです。ステークホルダーの皆様のご期待に応えるべく、精一杯つとめさせていただき所存です。

自動車業界は、電動化や自動運転の進展、異業種企業の参入など「100年に一度の大変革期」といわれています。アイシングループもこの変化に適応し、今後50年、100年と生き残っていくための変革を加速するとともに、事業を通じた社会課題の解決に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月

取締役社長
伊勢 清貴

|| 営業の概況

■ 業績について

当第2四半期の業績につきましては、オートマチックトランスミッションやボディ部品の販売増加等により、上半期としては過去最高の1兆9,944億円と前年同期に比べ7.5%の増収となりました。利益面では、営業利益は1,232億円（152億円の増益）、税引前四半期利益は1,322億円（160億円の増益）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は645億円（85億円の増益）となりました。

■ 配当について

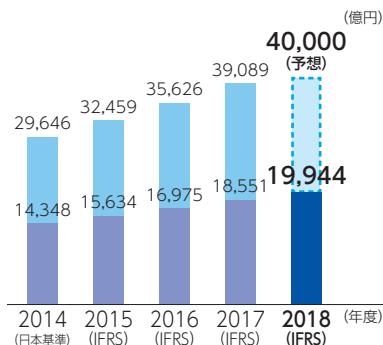
中間配当金につきましては、1株につき60円とさせていただきます。

財務ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期連結累計期間

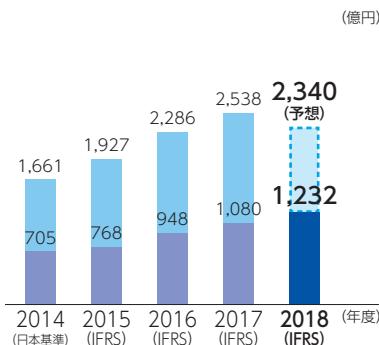
売上収益 (売上高)

1兆9,944億円 前年同期比7.5%増 



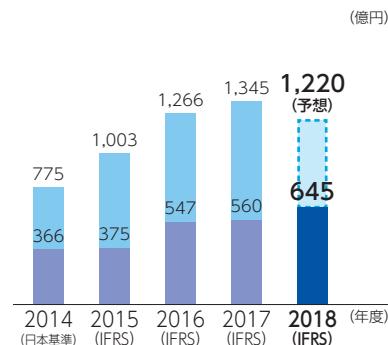
営業利益

1,232億円 前年同期比14.1%増 



親会社の所有者に帰属する四半期 (当期) 利益 (親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益)

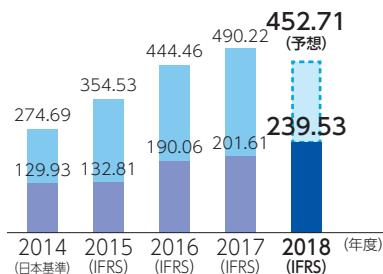
645億円 前年同期比15.3%増 



基本的1株当たり四半期 (当期) 利益 (1株当たり四半期 (当期) 純利益)

239.53円

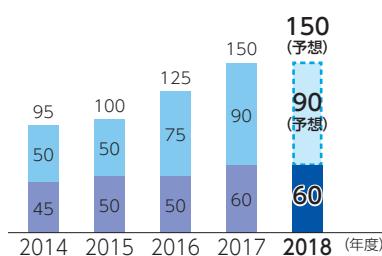
(円)



1株当たり配当金

60円

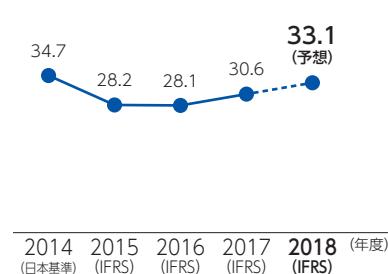
(円)



配当性向

33.1%

(%)



見通しに関する注意事項：この中間報告書に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見直し、戦略等は、現在入手可能な情報に基づく予想であり、実際の業績はこれらの業績予測とは異なる可能性があります。従って投資判断に際しましては、これらの計画、見直し等に全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。

事業概況

売上収益構成比 (2018年度第2四半期連結累計期間)



家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

住生活・エネルギー関連・その他

712億円 3.6%

- ベッド・寝装品・家具
- シャワートイレ
- ガスヒートポンプエアコン など



FRマルチステージハイブリッドトランスミッション

パワートレイン

1兆1,199億円 56.1%

- オートマチックトランスミッション
- マニュアルトランスミッション
- CVT (無段変速機)
- クラッチディスク・カバー など



カーナビゲーションシステム

情報・電子

630億円 3.2%

- カーナビゲーションシステム
- ECU
- 電流センサー

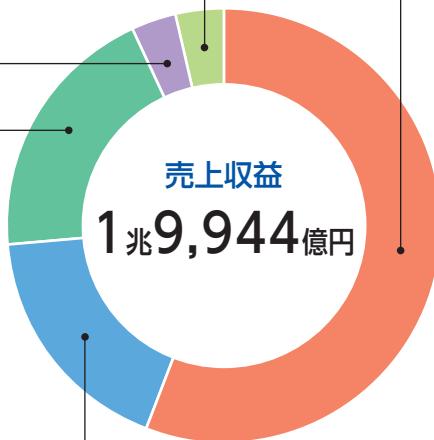


電子制御ブレーキシステム

走行安全

3,530億円 17.7%

- ブレーキブースター付マスターシリンダー
- ディスクブレーキ
- ABS (アンチロックブレーキシステム)
- ESCモジュレーター
- エアサスペンションシステム など



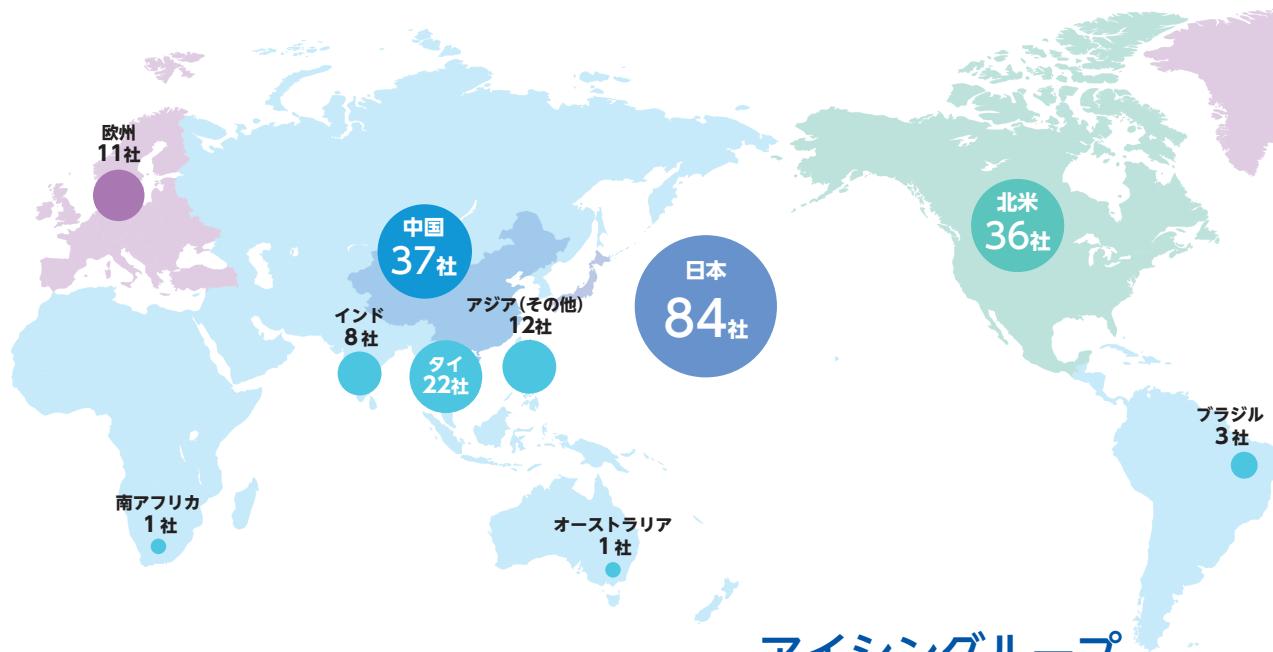
パワースライドドアシステム

車体

3,871億円 19.4%

- パワードアロック
- ドアフレーム
- サンルーフ
- パワーシート
- 塗布型制振材 など

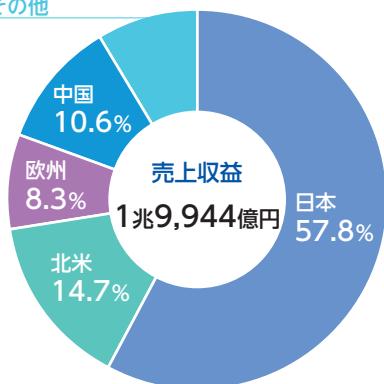
地域別会社数 (2018年9月30日現在)



アイシングループ
215社 (持分法適用会社除く)

地域別売上収益 (2018年度第2四半期連結累計期間)

アジア・その他
8.6%



【日本】 1兆1,532億円

【北米】 2,934億円

【欧州】 1,648億円

【中国】 2,111億円

【アジア・その他】 1,718億円

電動化に向けた競争力強化の取り組み

パワートレイン事業については、世界各国の大幅な燃費・排ガス規制強化により、加速する電動化への対応が急務であることから、クルマの電動化に向けて「1 モーターハイブリッドトランスミッション」や「eAxle（電動駆動ユニット）」の開発を加速させるなど、商品ラインナップの拡充を進めています。

1 モーターハイブリッドトランスミッション（2019年1月から量産開始予定）

大幅な燃費向上と動力性能を両立

「1 モーターハイブリッドトランスミッション」は既存ATのトルクコンバーターの代わりに、モーターとエンジン切り離しクラッチを配置したシンプルな構造です。既存の生産設備を活用して生産することができます。エンジン効率の悪い低速走行時はクラッチでエンジンの出力を切り離し、モーターでのEV走行を行う一方、高速走行時には、トランスミッションを活用した、滑らかで無駄のない加速を実現します。低速、高速それぞれの局面において、モーターとエンジンをうまく使い分けることで大幅な燃費向上を実現するとともに、ダイレクト感のあるスポーティな走りに貢献します。



PSAグループ「DS7 CROSSBACK E-TENCE 4x4」に搭載

2018年10月にフランスで開催されたパリモーターショー2018で、当社を代表して社長の伊勢がプレスカンファレンスを行い、電動化に向けた取り組みをアピールしました。その中で、PSAグループがワールドプレミアで発表した

「DS7」のPHEV（プラグインハイブリッド車）モデルに、アイシングループ初の1モーターハイブリッドトランスミッション（1-Motor FWD PHEV Transmission）が搭載されることを発表しました。



「DS7 CROSSBACK E-TENCE 4x4」



パリモーターショー2018でのプレスカンファレンスの様子

eAxleシリーズ（開発中）

あらゆる電動化車両に対応する電動駆動モジュール

eAxleは、モーター・ギアボックス・パワーコントロールユニットを組み合わせ、お客様のニーズに合った最適な電動駆動モジュールを提供できる商品です。

例えば、モーターにおいては、お客様の車種とニーズに合わせた容量を用意し、同軸型と平行軸型の減速機、一体型と別体型のパワーコントロールユニットを組み合わせることで、小さなクルマからバスやトラックまで、あらゆるタイプのクルマに適合することができます。

今後、電動化商品のラインナップを拡充し、電動化車両の更なる普及に貢献していきます。

パリモーターショー2018で新たに2製品を発表



eAxle 100kW Class



eAxle 150kW Class

株式会社デンソーと電動化の普及に向けた駆動モジュール開発・販売の合併会社設立検討に合意



新会社では、HEV（ハイブリッド車）、PHEV、BEV（電気自動車）、FCEV（燃料電池車）など幅広い電動化ニーズに対応できる駆動モジュールのラインナップを揃え、お客様であるカーメーカーのエンジンに合わせた適合までを含めて対応、販売体制を構築する構想です。

また、EV市場の急拡大が見込まれる欧州や中国をはじめ、世界各地への幅広い普及をめざします。なお、出資比率はアイシン50%、デンソー50%です。

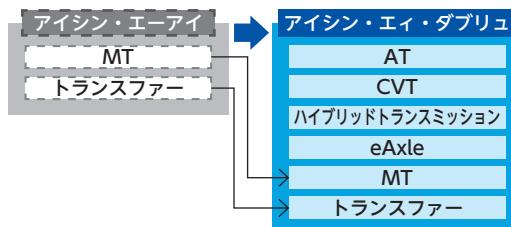
左から
アイシン精機 伊勢社長、
株式会社デンソー 有馬社長

トランスミッション製造の2社を経営統合

2018年10月31日、当社グループのオートマチックトランスミッションなどを製造するアイシン・エイ・ダブリュとマニュアルトランスミッションなどを製造するアイシン・エーアイが2019年4月に経営統合を行うことを発表しました。

今後、電動化など自動車を取り巻く環境が大きく変化する中、トランスミッション事業として全体最適と効率化をねらいに2社を統合することで、より競争力のあるパワートレイン事業の構築をめざします。

経営統合のイメージ



全駆動ユニットを担当

トピックス

AT増産に向けた生産体制を強化

グローバル市場におけるオートマチックトランスミッション（以下、AT）に対するお客様のニーズをふまえ、2020年に1,320万台の供給能力を確保することを目標に、生産能力の強化を進めました。

中国カーメーカー2社と合併会社設立を決定（4月）

市場規模が拡大する中国で、広州汽車集団乗用車有限公司（広州汽車）、および浙江吉利羅佑発動機有限公司（吉利汽車）とATの生産を行う合併会社設立を決定しました。両社ともにATを年間40万台規模で生産する計画です。



広州汽車との調印式



吉利汽車との調印式

中国でMTの生産ラインを再編しAT生産の開始を決定（4月）

中国でマニュアルトランスミッション（MT）を生産する子会社である唐山愛信歯輪有限公司の生産ライン再編を行い、既存のMT生産に加え2019年8月からATの生産を開始することを決定しました。今後、ATを40万台規模で生産する計画です。



ATの生産開始が決定した唐山愛信歯輪

自動運転の普及に向けた新会社設立へ（8月）

当社、株式会社アドヴィックス、株式会社デンソー、株式会社ジェイテクトの4社は、自動運転や車両運動制御などに必要な統合ECUソフトウェアの開発を行う合併会社の設立に向け、検討を進めることに合意しました。



左から
アドヴィックス 大竹社長、
アイシン精機 伊勢社長、
株式会社デンソー 有馬社長、
株式会社ジェイテクト 安形社長

アフターマーケットバーチャルカンパニー設立（8月）

クルマの補修用品やカスタマイズ用品（アクセサリ）を販売するアフターマーケットの強化に向けて、アフターマーケットバーチャルカンパニーを設立しました。グループ一体での市場拡大と売上増加をめざします。



アイシングループのアフターマーケット商品

「乗り合い送迎サービス」の実証実験を開催（7月）

高齢者を中心とした地域住民の健康維持・増進をサポートする移動支援サービスの実証実験を愛知県豊明市で開始しました。同市仙人塚地区から市内・近郊の医療機関や商業施設への乗り合い型の送迎サービスを提供します。



アイシングループの商品がトヨタ自動車「カローラハッチバック（北米向け）」「新型クラウン」などに搭載

トヨタ自動車 カローラハッチバック（北米向け）

エンジン用ピストン

ピストンスカートの表面処理に、レーザー加工技術を用いる表面処理技術を採用し、低フリクション性能を実現。車両の燃費効率向上に貢献



エキゾーストマニホールド

排気ガスをスムーズに触媒へ導く最適な形状を開発。パイプの曲げ半径を小さくすることによるコンパクト化と、薄板材の採用で20%の軽量化を実現



ダイレクトシフトCVT

世界初となる発進用ギアを採用し、クラストップの変速比幅と伝達効率を実現。従来比6%の燃費性能向上とダイレクトで力強い走りを両立



中容量FF6速マニュアルトランスミッション

従来より質量を7kg低減、全長を24mm短縮し、世界トップレベルの軽量・小型化を実現。ドライバーのスムーズな変速操作をサポートするiMT制御へも対応



ウィンドウレギュレーター

従来のプレス品を組み合わせたアーム式レギュレーターからワイヤーによる昇降に変更することで、昇降品質向上と0.6kgの軽量化を実現



※トヨタ自動車と共同開発

トヨタ自動車 新型クラウン



アウトサイドハンドル

空気の流れを調整するエアロスタビライジングフィン要素をデザインに取り込み直進安定性を高めるとともに、人間工学に基づきグリップ形状を最適化し、握り心地を向上



減衰力調整式アブソーバ

車両状態量を推定するアルゴリズム、最適な制御を行うECU、新型バルブにより減衰力調整幅を拡大したアブソーバをシステムで開発し、優れた操縦性と快適な乗り心地を高いレベルで両立



ホンダ N-BOX 車いす仕様車



アルミ製スロープ

従来品に対し20%軽量化し、操作性が向上。介護からレジャーまで幅広い利便性を備えた「スロープ仕様車」に搭載



連結決算

要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産	1,463,828	1,483,068
現金・現金同等物	406,508	396,703
営業債権・その他債権	621,863	589,012
棚卸資産	295,787	343,686
その他	139,669	153,665
非流動資産	2,064,082	2,146,648
有形固定資産	1,294,225	1,360,139
無形資産	40,045	38,249
その他	729,811	748,259
資産合計	3,527,910	3,629,717

科目	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債	1,010,112	981,416
営業債務・その他債務	796,318	768,512
社債・借入金	86,893	87,469
その他	126,899	125,434
非流動負債	714,669	765,526
社債・借入金	430,650	467,719
その他	284,019	297,806
負債合計	1,724,781	1,746,943
資本の部		
親会社所有者持分	1,310,176	1,365,743
資本金・資本剰余金	116,875	114,896
利益剰余金	1,161,260	1,201,553
その他	32,039	49,293
非支配持分	492,952	517,029
資本合計	1,803,129	1,882,773
負債及び資本合計	3,527,910	3,629,717

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
売上収益	1,855,119	1,994,469
売上原価	1,613,578	1,742,926
売上総利益	241,541	251,542
販売費及び一般管理費	136,567	141,342
その他の収益	8,836	20,073
その他の費用	5,791	6,991
営業利益	108,019	123,281
金融収益	7,205	7,661
金融費用	4,230	4,058
持分法による投資利益	5,219	5,344
税引前四半期利益	116,214	132,228
法人所得税費用	34,272	36,182
四半期利益	81,942	96,046
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	56,001	64,551
非支配持分	25,940	31,494

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,130	179,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 87,025	△ 172,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,043	△ 15,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,393	△ 1,433
現金及び現金同等物の増減額	△ 24,543	△ 9,805
現金及び現金同等物の期首残高	394,559	406,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	370,015	396,703

会社概要

会社データ (2018年9月30日現在)

会社名 アイシン精機株式会社
本社所在地 〒448-8650
愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
設立年月日 1965年8月31日
資本金 450億円
従業員数(連結) 119,742名
連結対象会社数 連結子会社 214社 (国内83社、海外131社)
持分法適用関連会社 10社

取締役・監査役 (2018年9月30日現在)

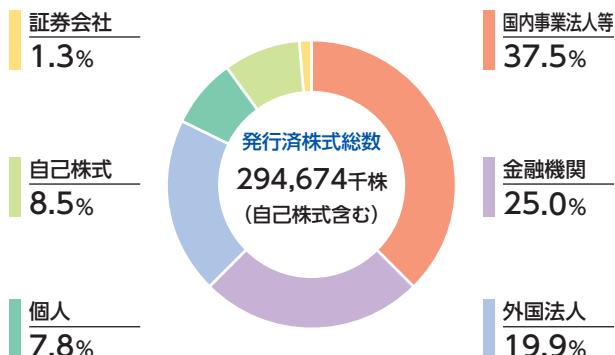
取締役会長 豊田 幹司郎
取締役社長 伊勢 清貴
取締役副社長 三矢 誠
取締役副社長 水島 寿之
取締役副社長 岡部 均
取締役 宇佐見 一美
取締役 西川 昌宏
取締役 植中 裕史
取締役 尾崎 和久
取締役 清水 寛一
取締役 天草 治彦
取締役 小林 敏雄*
取締役 原口 恒和*
取締役 濱田 道代*
常勤監査役 名倉 敏一
常勤監査役 堀田 昌義
監査役 加藤 光久
監査役 小林 量
監査役 高須 光

*会社法で定める社外取締役

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 700,000千株
発行済株式総数 294,674千株
株主数 21,711名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
トヨタ自動車株式会社	66,863千株	24.8%
株式会社豊田自動織機	20,711	7.6
株式会社デンソー	12,964	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,038	4.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,075	3.7
東和不動産株式会社	6,344	2.3
日本生命保険相互会社	5,670	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,864	1.4
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,700	1.3
明治安田生命保険相互会社	3,675	1.3

(注) 1. 当社は、自己株式を25,185千株所有しておりますが、上記の大株主より除いております。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を控除して算出しております。

株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金支払い株主確定日 3月31日
なお、中間配当を行う場合は、9月30日

単元株式数 100株
証券コード 7259
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(お知らせ)

中間配当金のお受け取りについて

今回お届けした第96期中間配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2018年12月28日(金)までとなっております。第96期中間配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。

株式手続きについて

株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座に登録された株式に関するお手続きについて

左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

受取期間終了後は、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

IR情報ツールのご案内

■ 公式企業サイト

IRニュースや業績データ、株式情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.aisin.co.jp>



■ AISIN GROUP REPORT

当企業グループの事業活動やCSRへの考え方や取り組みをまとめた経営年次報告書「AISIN GROUP REPORT (アイシングループレポート)」を発行しています。

[アイシングループレポート](#)

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
電話 (0566) 24-8441 (代表)

